

軽井沢町

土砂災害防災マップ

 土砂災害警戒区域が
指定されました！

平成 27 年 3 月 30 日付けで、長野県知事により軽井沢町全域で土砂災害警戒区域（イエローゾーン）・土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）が指定されました。

この指定の目的は、土砂災害防止法の一定の基準に基づき、土砂災害のおそれがある区域を指定し、併せて危険の周知、警戒避難体制の整備等のソフト対策の推進を図っていくことにあります。

今回配付しました「土砂災害防災マップ」は、全ての指定箇所をお知らせするとともに、日頃の備えについて掲載されています。なお、この防災マップは、指定されていない隣接の場所が安全であることを示しているものではありません。また、今後の土地利用状況によっては、追加指定される場合もあります。

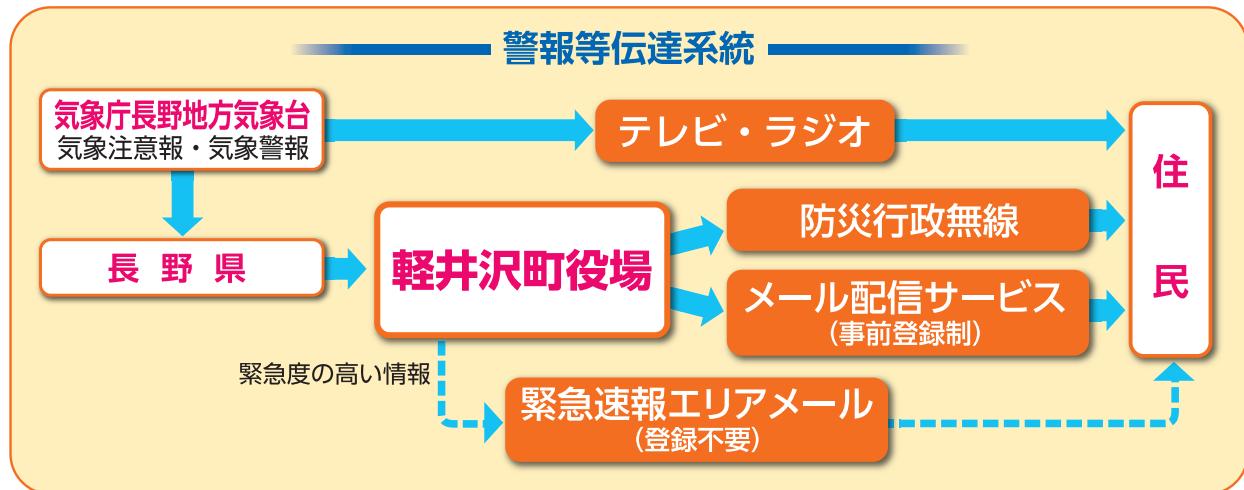
大雨による土砂災害は、どこで発生するか分かりませんので、この防災マップを参考に、日頃の備えを行うとともに、危険がせまっているときは、危ない場所には近づかず、早めの避難を心がけてください。



軽井沢町

町からの情報に注意しましょう

災害時、町では次々と変わる気象情報をはじめ、被害の状況や避難の勧告・指示など、あらゆる情報を防災行政無線やメール配信サービスなどでお知らせします。



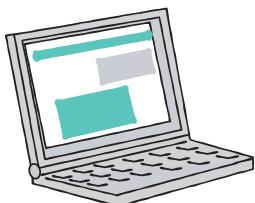
メール配信サービスのご案内

あらかじめ登録していただいた方の携帯電話やパソコンに、町からの情報を電子メールでお知らせするものです。

登録方法

- メール配信を受けたい携帯電話またはパソコンから、登録用メールアドレスに、件名、本文を入力せずにメールを送信します。 (空メール送信)
バーコード読取機能のある携帯電話をお持ちの方は、QRコードから読み取れます。
- 登録案内のメールが送信されるので、このメール本文に記載された案内に従って登録操作を行ってください。
- 登録完了のメールが送信されれば登録完了です。

問い合わせ▶▶ 軽井沢町 企画課 ☎0267-45-8119



登録用アドレス karu.kouhou@mpme.jp



災害に関する情報はこちらからもご覧になれます

◆長野県河川砂防情報ステーション◆

県内の雨量（予測）情報、河川水位情報、土砂災害危険度、河川カメラ画像等県内の河川・砂防に関する情報を提供しています。

URL <http://www.sabo-nagano.jp/dps/>
携帯版 <http://www.mobile.sabo-nagano.jp/m/>

◆長野県河川水位情報◆

県管理河川の水位、洪水予報に関する情報を提供しています。

URL <http://kasenbousai.pref.nagano.lg.jp/>

Point リモコンの「d」ボタンを活用しよう

NHKデータ放送（総合・BS1）では、市町村ごとのきめ細かな気象情報を伝えています。24時間先までの3時間ごとの予報、1週間先までの週間予報に加え、お住まいの地域の降水量・気温・風向風速等の10分ごとのデータをリアルタイムで確認することができます。

また防災に役立つ気象情報も掲載しています。



気象状況に注意し、早めの対応を

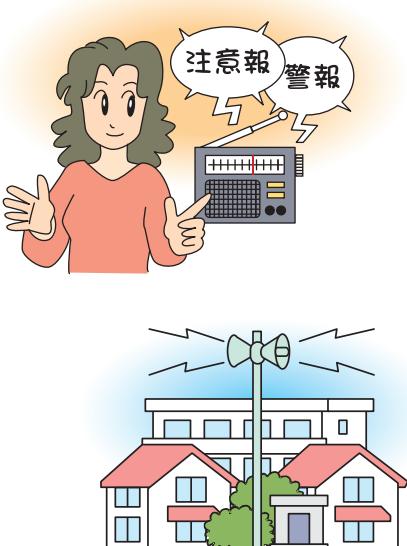
雨や風などの気象条件は、刻々と変化していきます。正しい情報に基づき、家族や地域が力を合わせて対応しましょう。

災害から身を守るための情報

気象庁は、風水害や土砂災害を防止・軽減するために、大雨警報などの防災気象情報を発表し、注意や警戒を呼びかけています。

これらの情報は、町の防災行政無線、メール配信サービス、ホームページ等でも住民の皆さんにお知らせします。

右図に大雨が予想された場合の各種防災気象情報の内容とタイミングの一例を示します。どんなときにはどんな情報が発表されるのかをイメージしてみてください。



大雨の場合に気象台が発表する防災気象情報

約1日程度前
大雨の可能性が
高くなる

半日～数時間前
大雨が始まる
強さが増す

数時間～
2時間程度前

大雨が一層
激しくなる

記録的な
大雨出現

被害の拡大が
懸念される

重大な災害の
危険性が著しく
高まっている

大雨に関する気象情報

警報・注意報に先立ち発表

大雨注意報

警報になる可能性がある場合はその旨記述

大雨に関する気象情報

雨の状況や予想を適宜発表

大雨警報

大雨の期間、予想雨量、警戒を要する事項などを示す

大雨に関する気象情報

刻一刻と変化する大雨の状況を発表

記録的短時間大雨情報

数年に一度の猛烈な雨が観測された場合に発表

土砂災害警戒情報

土砂災害の危険度がさらに高まった場合に県と気象台が共同で発表

特別警報

警報の発表基準をはるかに超える現象に対して気象庁が発表

(気象庁資料を参考にして作成)

土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域とは

土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律（土砂災害防止法）に基づき、土砂災害から住民の生命を守るため、土砂災害のある区域についての危険の周知、警戒避難体制の整備、住宅等の新規立地の抑制、既存住宅の移転促進等のソフト対策を推進することを目的として、知事が指定する区域です。

土砂災害警戒区域の指定「イエローゾーン」 〈土砂災害のおそれがある区域〉

土砂災害特別警戒区域「レッドゾーン」 〈土砂災害警戒区域のうち建築物に損壊が生じ住民に著しい危害が生じるおそれがある区域〉

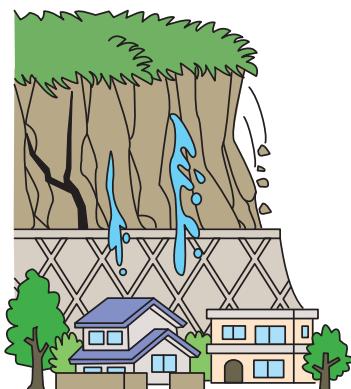
土砂災害の種類と前ぶれ

崖崩れ

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、急激に斜面が崩れ落ちる現象。突発的かつ急速におこることが多いのが特徴

【前ぶれ】

- 小石がバラバラと落ちてくる。
- 崖から水が湧いてくる。
- 崖にひび割れができる。



土石流

土石と水が一体となって流れ落ちる現象。昔から「山津波」とか「鉄砲水」といっておそれられている。

【前ぶれ】

- 山鳴りや木立の裂けるような音、ふだん聞きなれない大きな音がする。
- 雨が降り続いているのに、川の水が急に減り始める。
- 川の水が濁ったり、流木が流れてくる。



地すべり

すべりやすい地層を境に、その上の土がそっくり動き出す現象

【前ぶれ】

- 地面にひび割れができる。
- 地面の一部が陥没したりする。
- 沢や井戸の水が濁る。
- 崖や斜面から水が噴き出す。

※平成27年3月現在、「地すべり」の対象地域の指定はありません。

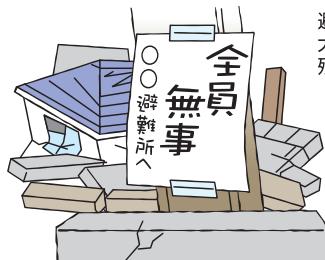


土砂災害は、大雨のときだけでなく、雨がやんでからも発生する可能性がありますので、油断しないようにしましょう。

避難時の心構え

家族への連絡手段や避難先をチェック!

- 家族が離ればなれになったときの連絡方法について確認しておきましょう。
- 最寄りの指定避難所及び指定緊急避難場所を確認し、そこまでの経路に危険な場所がないか、実際に現地を歩いて確かめておきましょう。



避難するときは、大きな字でメモを残すことが大切



減災～リスクを限りなくゼロに近づけるために～

私たちは、災害による危険度（リスク）をゼロにすることはできませんが、小さな積み重ねで、ゼロに近づけることはできます。

自分や家族を土砂災害から守ることも同じで、日頃からこの防災マップを参考に自宅や別荘の周囲状況を確認し、いざというときの避難に備えて、指定避難所や安全な避難経路、方法等を考えておくことが大切です。

リスクを少しでも小さくするため、「何ができるのか」を考え、家族などでも話し合い、できることから実行しましょう。

月に一度は家庭防災会議を

家族の防災意識を高めるため家庭で防災会議を開きましょう。定期的な話し合いの積み重ねで、いざというときには、適切な行動がとれるようになります。また、家族単位だけでなく、ご近所との合同会議がもてれば一層心強いですね。



Point “循環備蓄”を行いましょう

缶詰や乾パンなどの長期保存が可能な非常食のみの備蓄には、限界があります。食べ慣れないうちに、いつの間にか「賞味期限が切れている」となることもあります。

そこで、普段から食べている食料品を少し多めに購入してみてはいかがでしょうか。その一部を備蓄品とし、いざというときに賞味期限切れを起こさないように、日常生活で定期的に使いながら、なくなった分を補充していく“循環備蓄”が勧められています。

日頃から「備蓄→消費→補充」を繰り返すことで、緊急時も普段どおりの食事ができるという安心感が生まれると同時に、備蓄した食料品が賞味期限切れで使えなくなることも防げ、無駄のない防災対策につながります。



梅雨や台風の時期には十分警戒を

長雨や大雨により地面に大量の水がしみ込み、弱くなった斜面が崩れるため、土砂災害のほとんどは、梅雨や台風の時期に発生します。

一般的に、1時間に20ミリ以上、または降り始めから100ミリ以上の雨が続いたら、土砂災害の危険性が高くなります。梅雨や台風の時期には、十分な警戒が必要です。



軽井沢町に大雨を降らせる可能性がある気圧配置の一例

【雨の降り方と風の吹き方】

気象情報では、よく「1時間雨量○mm」、「風速○m」という表現が出てきます。そのときの雨や風の強さが具体的には、どのようなものなのか、イメージしてみましょう。
(以下は、いずれも気象庁資料を参考にして作成)

雨の強さと降り方 (1時間雨量 : mm)

10以上～20未満	雨の音で話し声がよく聞き取れない。	
20以上～30未満	ワイパーを速くしても見づらい。側溝や小さな川があふれる。	
30以上～50未満	山崩れ、土砂災害が起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要	
50以上～80未満	土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。	
80以上～	雨による大規模な災害が発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要	

風の強さと吹き方 (平均風速 : m/秒)

	10以上～15未満	風に向かって歩きにくくなる。 傘がさせない。	
	15以上～20未満	風に向かって歩けない。 転倒する人もいる。	
	20以上～25未満	しっかりと身体を確保しないと転倒する。 風で飛ばされた物で窓ガラスが割れる。	
	25以上～	立っていられない。 屋外での行動は危険 樹木が根こそぎ倒れはじめる。	

非常時に役に立つもの

災害時に備えて準備しておくものは、家族構成を考えて必要数をそろえ、保管しておきましょう。
また、非常持出品は、リュックサックなどの非常持出袋に入れて保管し、それ以外の備蓄品とは、分けておきましょう。

最低限準備しておくべきもの(非常持出品)

●非常食・飲料水

火を使わない食べ物と水などの用意を。



●携帯ラジオ

AM・FM両方を聴けるものを用意。予備電池も多めに準備を。



●救急箱セット

いつも飲んでいる薬があれば必ず準備を。



●懐中電灯

できれば1人に1つ用意を。予備電池・電球もあわせて準備を。



●お金・貴重品

お金は、公衆電話用に10円硬貨も入れておく。貴重品は、預金通帳、健康保険証、免許証のコピーや印鑑など。



●ヘルメット・軍手・タオル・着替え・長ぐつ

一人ひとりに準備。着替えの衣類は、長袖・長ズボンの用意を。



●その他

マッチ、缶切り、ビニール袋、ウェットティッシュ、生理用品なども家族に合わせて準備を。乳幼児やお年寄りがいる家族は、ほ乳瓶、粉ミルク、紙おむつなども忘れずに。



被災後の生活のために準備しておきたいもの(災害用備蓄品)

●食料

自分の家の食料でまかなえる量を最低でも3日分、周辺の道路状況によっては7日分確保



●水

1人1日当たり3リットルを目標に、必要な日数分の備蓄を。風呂桶への貯水を習慣づけることも大切

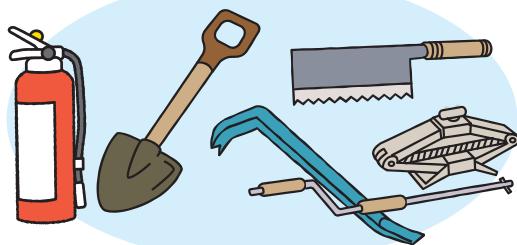


●カセットコンロなど

予備ボンベも忘れずに。野外バーベキュー用品も便利



●消防・救助用品



●その他(東日本大震災で役に立ったもの)

- ・ホイッスル
- ・予備の眼鏡・補聴器
- ・ビニールシート
- ・ビニールラップ
- ・ゴミ袋
- ・新聞紙
- ・携帯トイレ
- ・使い捨てカイロ
- ・厚底スリッパ
- ・液体ハミガキ
- ・ドライシャンプー
- ・ガムテープ
- ・地図
- ・さらし
- ・筆記用具(マジックなど)など

※大規模災害の発生直後は、ライフラインの損壊等により、救援物資がすぐには届かないこともあります。災害が発生してから最低でも3日分、周辺の道路状況によっては、7日分程度の非常食・飲料水を準備しておく必要があります。



わが家の防災メモ

RUIZAちゃん

わが家の住所 (別荘)	(〒―――) 住所	TEL
----------------	--------------	-----

家族の連絡先	氏名	生年月日	血液型	緊急連絡先	指定避難所
		・・	型RH +-	□	
		・・	型RH +-	□	
		・・	型RH +-	□	
		・・	型RH +-	□	
		・・	型RH +-	□	
		・・	型RH +-	□	

■親戚・知人の連絡先

氏名	電話番号	住所	メモ 家族との関係など

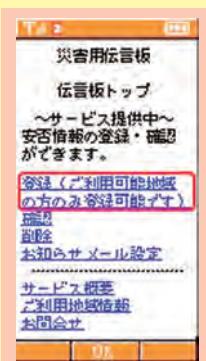


覚えておきましょう! 災害時の連絡方法

携帯電話「災害用伝言板」

大規模な災害が発生した場合、NTTドコモの「iMenu」、auの「EZ web」、SoftBankの「Yahoo!ケータイ」のトップに「災害用伝言板」が追加され、自らの安否状態を登録することができます。

登録された伝言については、インターネット接続が可能なパソコンや他社の携帯・PHSからも下記のURLで参照できます。



NTTドコモ
<http://dengon docomo.ne.jp/top.cgi>
au
<http://dengon.ezweb.ne.jp/>
SoftBank
<http://dengon.softbank.ne.jp/>

災害用伝言ダイヤル「171」

NTTでは、震度6弱以上の地震発生時など、被災地への安否確認電話が集中する場合に「災害用伝言ダイヤル」サービスを開始します。

災害用伝言ダイヤルの開設、登録できる電話番号等運用条件などは、災害後、NTTが決定しテレビやラジオ放送でお知らせしますので、「171」をダイヤルし、利用ガイドに従って伝言の録音・再生を行ってください。

伝言の録音方法

1 7 1 にダイヤルする

▼ガイダンスが流れます

録音の場合 1

▼ガイダンスが流れます

(XXX) XXX-XXXX (XXX) XXX-XXXX

伝言の再生方法

1 7 1 にダイヤルする

▼ガイダンスが流れます

再生の場合 2

▼ガイダンスが流れます

NTT東日本 <http://www.ntt-east.co.jp/saigai/voice171/index.html>

軽井沢町消防課 防災係
電話 0267-45-1880



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

平成27年8月現在